

ケイコク！

ジッシシテクダサイ メンテナンス

原因	メンテナンスが推奨される期間（1年間）またはサイクル回数（1000回）を超えました。 サイクル開始時に毎回表示されます。
対応	※エラーではありません！ メンテナンス推奨時期をお知らせする機能です※ 表示された場合、もう一度【Start・Stop】ボタンを押すことでサイクルを開始できます。 表示された場合は定期メンテナンスを実施することをお勧めいたします（点検の際、メンテナンス担当者がメンテナンスカウンターをリセットいたします）。

ケイコク！

キュウスイサレテイマセン キュウスイノホジュウヲ シテクダサイ-カインデキマセン

原因	給水タンク内のフロートセンサーが浮いていない可能性があります。 サイクル開始時に表示されます。
対応	給水タンク内の手前側にあるフロート（色：白）が浮いているか確認してください。 水量が足りない場合は蒸留水を補充してください。水量が十分にもかかわらず表示される場合、フロートが汚れなどに引っかかり正しく浮いていない可能性があるため、棒等でフロートを突き再度サイクルを実行してください。

マルファンクション 1 バキュームシステム

原因	バキューム時に問題が発生しました。
対応	①チャンバー内下部の穴（写真赤丸部）に異物がないか確認。 ②ドアシールが正しくセットされているか確認（別紙「ドアシール再セット・交換時の注意」を参照）。 確認後はチャンバを空にしていずれかの滅菌サイクルで動作確認してください。 異物がある場合、取り除いてください。エラーが再現しない場合、チャンバー内の穴が塞がってしまった可能性がある為、滅菌物を減らし整理してから再度サイクルを実行してください。



マルファンクション 2 スチームハッセイキ

原因	蒸気発生器に異常が発生しました。
対応	チャンバー内を空にしていずれかの滅菌サイクルで動作確認してください。 エラーが再現しない場合、滅菌物がチャンバー内の穴を塞いでしまっていた、または積載量が過剰だった可能性があるため、滅菌物を減らし整理してから再度サイクルを実行してください。

マルファンクション 10 スチームハッセイキオーバーヒート

原因	蒸気発生器が過熱状態になっています。
対応	5分ほど冷却時間を設けた後、チャンバー内を空にしていずれかの滅菌サイクルで動作確認してください。 エラーが再現しない場合、滅菌物がチャンバー内の穴を塞いでしまっていた、または積載量が過剰だった可能性があるため、滅菌物を減らし整理してから再度サイクルを実行してください。

マルファンクション 12 ドアロック

原因	ドアロックのピンが固まっています。 サイクル開始時に表示されます。
対応	ドアロックのピン（写真赤丸部）が固まっていないか確認してください。 電源を切った状態でピンを押し込み、放しても元の位置に戻らない場合汚れや錆びなどにより引っかかってしまっている可能性があります。ピンの回転、出し入れ等を行い馴染ませることで改善する場合があります。



※その他のエラー（マルファンクション）等に関しましては**取扱説明書**を参照してください。

よくあるお問い合わせ ～動作不良関連～

電源が入らない

原因	ヒューズが飛んでいる、または電源に問題がある可能性があります。
対応	電源プラグが抜けていないか確認します。正しく接続されていても電源が入らない場合はメインヒューズを交換してください（別紙「メインヒューズ交換手順」を参照）。 ※機器に異常がなくてもヒューズが飛ぶことがあります。

蒸気が漏れる

原因	ドアシールが劣化、または正しくセットされていない可能性があります。
対応	ドアシールが正しくセットされているか確認してください。正しくセットされていても復旧しない場合はドアシールを交換してください（別紙「ドアシール再セット・交換時の注意」を参照）。 劣化していたり正しくセットされていないとエアや蒸気が漏れ、様々なエラーの原因にもなります。

乾燥が悪い

原因	滅菌物の量や搭載方法に問題がある可能性があります。
対応	滅菌物の搭載状況を調整した後、再度ユニバーサルプログラムで滅菌を行ってください（別紙「エヴリーブ滅菌物搭載における注意点」を参照）。 滅菌を開始する際、⓪ボタンを押したまま【Start・Stop】ボタンを押すと乾燥時間が1.5倍になります。

※その他の不具合等に関しましては取扱説明書を参照してください。

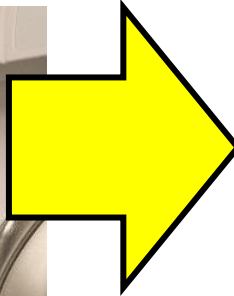
各対応を実施しても復旧しない、またはすぐ再現してしまう場合は
お買い求めのディーラーまたは弊社担当者までご連絡ください。

ドアシール再セット・交換時の注意

ドアシールは週に一回、清掃していただくことをお薦めしております。
エア・蒸気漏れが発生した場合、交換が必要になることがあります。
ドアシールの交換・再セットの際は下記の通りご注意ください。



◎ドアシールは必ず **ベロの長い方が手前** に来るようセットします。
再セット・交換後はいずれかの滅菌サイクルで動作確認してください。



※ 枠中に正しく収まっていることを確認してください。

注意：ドアシールを表裏逆につけた状態で滅菌を行うとエラーや故障の原因となりますのでご注意ください。



メインヒューズ 交換手順

使用状況などによりメインヒューズが飛び電源が入らない場合があります。
電源が入らない場合は下記の手順に従ってご対応ください。

※作業を始める前に※

電源がOFF（スイッチが左側に倒れている状態）であることを確認してから作業してください。

①

電源スイッチの上に黒く丸い部分が2つあります。
まず片方（どちらからでも可）をマイナスドライバーで緩め、引き抜きます。



②

刺さっているヒューズを引き抜き、扉の裏側左端に刺さっている予備のヒューズを1本取り出して交換します。



③

ヒューズを交換したら本体の元の位置に戻し、電源を入れます（入った場合④へ）。
電源が入らない場合、もう片方も①、②の作業を行います（左右とも同じ構造です）。

④

電源が入った場合、【**ユニバーサルプログラム**】で動作確認を行ってください。

※左右両方交換しても電源が入らない場合はお問い合わせのディーラーまたは弊社担当者までご連絡ください。

エブリーブ滅菌物搭載における注意点

1) 滅菌物を搭載する際は、丸印全ての穴を、絶対に塞がない様に設置します。

注：丸印を塞いでしまった場合、エラーになります。

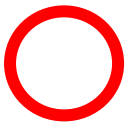


付属のマウント・トレイを使用して頂ければ、穴を塞ぐ事はありません。

2) 縦置きホルダー使用例

なるべくチャンバーのふちに滅菌パックが掛からない様にして下さい。

(紙面と紙面・フィルム面とフィルム面を合わせて使用します。)



面も合わせており、滅菌パックがふちにあまりかかっていない状態



縦置きホルダーを使用しておらずふちに滅菌パックがほぼ触れている状態

3) ハンドピース搭載例 (マウント使用)

注：破裂防止の為、シーリングの際には2～3重に線を太くして下さい。

注：滅菌パックを谷折りにすると、水滴が溜まりやすくなってしまいます。



・マチ付滅菌パック使用
・シーリングを太くする



・滅菌パック山折りで搭載



・マウントからはみ出ないように搭載
・チャンバー内に余裕を残して下さい

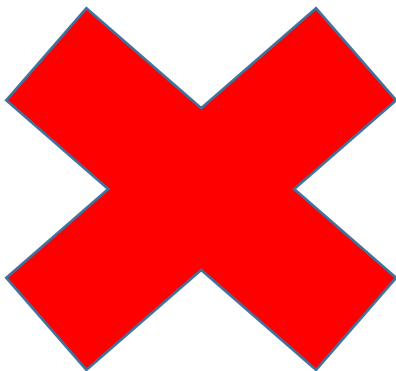
4) NG 搭載方法の例 (注: 写真は全て NG 搭載方法になります)



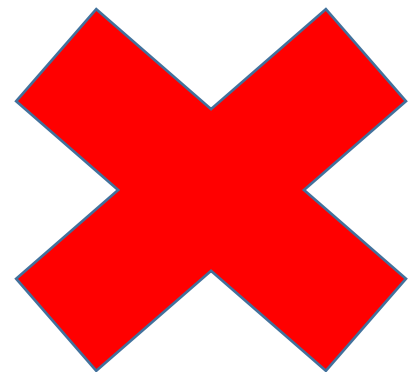
- ・マウント・トレーを使用していない
- ・チャンバー内に過搭載



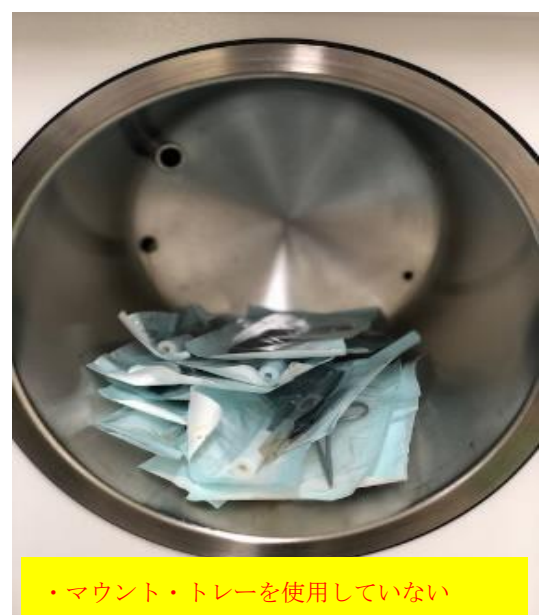
- ・マウント外にも滅菌物を詰め込んでいる
- ・チャンバー内に過搭載



- ・滅菌物の上に縦置きホルダーを置いている
- ・チャンバー内に過搭載



- ・縦置きホルダー外にも搭載している
- ・穴を塞いでしまっている



- ・マウント・トレーを使用していない
- ・下の穴を塞いでしまっている